



年間24号、1号あたり3万6千部を発行している「広報薩摩川内」。市のお知らせを届けるだけでなく、少しでも本市に興味を持ってもらえるよう、分かりやすく、皆さんに読んでいただける広報紙制作のため、市内で活躍する人にスポットを当てたり、さまざまな特集を組んだりしています。

ところで、皆さんは本紙がどのように制作されているかご存じですか。

今回は、どのような流れを経て皆さんの元に届くのか、その過程を紹介いたします。



### ①企画編集会議

広報紙の制作は発行月の2カ月前からスタート！皆さんにお知らせしなければならぬことは何か、興味を持って見ても何かを検討し、表紙や掲載する記事、ページ数の配分や配置などを企画します。

特に、表紙は手に取ってもらえるように、過去のものと同じにならないようにしながら、季節感を取り入れるなど工夫しています。



### ②取材・撮影

掲載内容が決まったら取材先へ日程調整し、取材に行きます。取材中に感じた疑問や、思わず聞けた話など、取材したからこそ得られた情報を届けることができます。

### ③編集

取材で集めた写真や記事、市役所内の各担当課から寄せられたお知らせなどを集約し、原稿のデータを作ります。

どうしたら内容を分かりやすく伝え

られるかを意識しながら、表現を言い換えたり、文字の大きさ、色、形や、画像などの配置を考慮するなどして原稿を作り上げます。

中には熱が入って内容盛りだくさんになることも・・・



▲取材(写真撮影)の様子

### 「紙」？それとも「誌」？

皆さんは広報薩摩川内を「広報紙」「広報誌」どちらで表記するか知っていますか？

答えは「**広報紙**」!! 辞書などによると、広報や連絡や周知などを目的に、定期的に発行される小冊子や小雑誌などのことを「**広報紙**」、企業や団体が広報活動の一環として刊行する出版物やPR誌を「**広報誌**」と記載しているのだそう。

このような、同じ読みでも意味の異なる字などに十分注意しながら、原稿を作成しているよ。



### ④DTP依頼、校正、校了

作成した原稿を市内の専門業者にDTP(机上編集)を依頼し、印刷データを作成します。



▲DTP作業の様子

プロの力を借りて写真の加工やレイアウト変更を行い、出来上がった印刷データに誤りが無いか秘書広報課や関係課で確認します(校正)。修正が無くなるまで校正を繰り返します。完全に修正が無くなった時点で校了(印刷してもよい状態)です。



▲なんとということでしょう！プロの手によってすっきりとした、目を引くデザインに生まれ変わりました！

### ⑤印刷・製本

全てのページが校了したら、市内の印刷会社に依頼し、印刷・製本します。

今回は、今年度契約をしている印刷会社に見学に行ってきました。ここでは、①送られてきたデータを基に、印刷用の版を作成し、

②A4版サイズ8ページ分の両面、計16ページ分を一枚の紙に印刷します。

その後、③2ページ分の大きさに断裁(紙を切る作業)し、④ページ順に製本機にセットすると、製本された広報紙の完成です。

完成!!



### 皆さんの声を紙面に

本市が行う広報活動を効果的に行うため、広報員会を開催しています。広報員会では、市民からの公募などにより委嘱した広報員に、内容はもちろんレイアウトや文字の大きさなど、紙面に関する意見や提言をいただいています。



令和5年度の広報員の募集については、決まり次第お知らせいたします。

### どこからでもご覧いただけます

このようにして作られた広報紙は、各自治会を通じて皆さんに届けられる他、市役所や各支所、甕島振興局、市内の公共施設や一部の店舗に設置しています。

また、市のホームページや自治体広報紙配信アプリ「マチイロ」などからもご覧いただけます。

就職や進学、異動などで本市を離れても、引き続き「広報薩摩川内」をお楽しみいただけますので、ご家族やお友達にもぜひお知らせください。

これからも皆さんに親しみでもらえる広報紙を目指していきますので、感想や身近な話題などをお寄せください。

マチイロの詳細やダウンロード方法については次のページをご覧ください。



▲市ホームページ



▲3月27日(月)からの市ホームページ



皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。

問合せ/本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G(内線412)